

COMPASS



答えの無い問いを探していく。そんな時代だから目指す方位を指し示すものが要だ。そのようなものに私はなりたい。

令和6年度全国学力・学習状況調査の特徴は？



4月18日に、全国学力・学習状況調査が行われました。
7月下旬に調査結果等が返却される予定です。
今年度はどのような調査が行われたのか、見ていきましょう！

令和6年度全国学力・学習状況調査の概要

1 目的

- 義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を分析し、その改善を図る。
- 学校における児童生徒への学習指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2 実施日

令和6年4月18日（木）

3 本体調査の内容

(1) 児童生徒に対する調査

- ア 教科に関する調査 ・小学校 国語、算数 ・中学校 国語、数学
イ 質問調査 ・学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等

※質問調査は、児童生徒が活用するICT端末を用いたオンラインによる回答

（児童質問調査：4月19日～4月30日、生徒質問調査：4月10日～4月18日）

(2) 学校質問調査

- ・学校における指導方法に関する取組や学校における人的・物的な教育条件の整備の状況等 ※オンラインによる回答

児童生徒への質問調査が、全校でオンラインによる回答になったのですね。
令和7年度は、中学校の理科が※CBT方式で実施されるようですね。

はい！

令和8年度以降については、小学校における※CBT方式の導入や中学校における実施する教科の拡大が検討されています。

そうなのですね。

他に昨年度の調査との違いはありますか？

今年度は、理科・英語の調査はなく、経年変化分析調査の実施年度です。

文部科学省からの抽出により指定された学校が、小学校では、国語、算数のいずれか1教科、中学校では、国語、数学、英語のいずれか1教科の調査を※PBT（英語「話すこと」はCBT）または※CBTで実施しています。併せて、保護者に対する調査も実施されています。

CBTとは！?

- CBT (Computer Based Testing)** : コンピュータ使用型調査
PBT (Paper Based Testing) : 冊子を用いた筆記方式の調査

全国学力・学習状況調査をCBT化する意義

- ①解答データを機械可読のビッグデータとして蓄積できる
 - ②ICT 端末上で出題・解答することで、多様な方法での出題・解答が可能になる
 - ③電子データにより問題・解答を配信・回収することで負担を軽減できる などがあります。
- これにより、全国的な学力・学習状況をより精緻に把握し、教育施策の検証・改善を一層充実することができたり、教育委員会や学校、児童生徒に、より細やかなフィードバックが可能となったりするため、調査の結果を今後の授業改善や教員研修等の充実などにより役立てることができるとされています。

千葉県教育委員会ホームページをぜひ御活用ください！

☆千葉県教育委員会ホームページには、子供たちの学ぶ意欲・学力の向上や教員の授業改善に役立つ情報が数多く掲載されています。

～ 例えば、こんな時に活用できます ～

「『思考し、表現する力』を高める実践モデルプログラム」に沿って授業を進めたいけれど具体的にどうしたらよいかわからない。



「授業実践アイデア例」というものがあります。
(授業全体や単元全体を見通した授業改善の具体例)

授業実践アイデア例では、全国学力・学習状況調査の問題や結果等を踏まえて、「『思考し、表現する力』を高める実践モデルプログラム」を活用した授業全体や単元全体を見通した授業改善の具体例を示しています。

自分の考えを広げたり深めたりすることが苦手な生徒への指導のポイントは？

「課題別実践アイデア例」がおすすめですよ。
(課題となる部分に重点的に効果を発揮する具体例)

課題別実践アイデア例では、全国学力・学習状況調査の結果等を分析した結果、具体的に課題となる部分に対して重点的に効果を発揮できるような取組について取り上げています。

小学校・算数 領域実践アイデア例
「データの特性を探え、空想したり表現したりする学習」

全国学力・学習状況調査の結果分析から

設問 4 (3)
●領域 「D」データの活用
●問題 思考・判断・表現

出題の趣旨 示された棒グラフと、複数の棒グラフを組み合わせたグラフを読み、見いだした違いを言葉と数を用いて記述できるかどうかをみる。

調査結果	平均	最低	最高	達成率	自己	千葉	全国
正答率	55.8%	58.2%			55.8%	55.8%	55.8%

●身に付けさせたい力
目的に応じて示された複数のグラフから、データの特性を探え考察したり、見いだしたことを表現したりすることができるようになること。

課題 (1) グラフを正しく読み取ること。
(2) グラフを比べて見いだした違いを言葉や数を用いて表現すること。

授業実践アイデア例

見いだす -課題を明確にする-

先週は、〇〇小学校運動会でした。この表は、1週間に3日以上運動した日について、みなさん3年生と、4年生の結果を整理したものです。

	3年生	4年生
3日以上運動した日数	18	17
1日	1	2
2日	3	4
3日	12	16
4日	2	4
5日	2	2

授業改善のポイント
棒グラフに表した後、どんなことが読み取れるか、詳しく見てみよう。

自分で取り組む -自分の考えを形成する-

ぼくは、自分の学年である3年生について、棒グラフに表してみました。1週間運動した日数について、「0日」、「1日」、「2日」の順で、人数が多いことがわかりました。

授業改善のポイント
グラフに表し、特徴や傾向を探え、考察・表現することが大切です。

広げ深める -新たな考えに気付く-

ぼくは、3・4年生全体も、3年生と4年生それぞれの人数もわかりやすくするために、右のようなグラフにしてみました。

「0日」に着目すると、次のようなことがあります。3年生のグラフでは「0日」の人数が一番多く、3年生と4年生を合わせたグラフでは「0日」の人数が3年生に多いです。

「1日」に着目すると、3年生のグラフでは・・・

続きをみんなで作っていきましょう。

私は人数について、詳しく見てみました。そして、わかったことを、メモ1とメモ2にまとめてみました。

メモ1
「1日」は 17人
「6日」は 4人

メモ2
3年生は「3日」
「4日」は「4日」

メモ1とメモ2は、それぞれ、グラフにのっていることに着目して書かれています。言葉や数を使って書いてみましょう。

メモの探求とグラフを関連付け、数値や変化に着目することが、情報を適切に判断することにつながります。

まとめあける -思考の過程を振り返る-

本時のまとめをしましょう。また、振り返りを書きましょう。

グラフにするから、データの傾向がわかりやすくなります。また、どこに着目するかで読み取る数も変わっていくことがわかりました。

授業改善のポイント
考査の学習レクに向けて、好きな道についてアンケートを取る予定なので、結果をグラフに整理してみんなに伝えたい。

児童が学んだことを確実に身に付け、「見方・考え方」を今後の学習や生活にどのように生かすか考える場面を設定しましょう。

課題

【中・国語】 複数の文章を比べて読み、自分の考えを広げたり深めたりすることが苦手

手立て

観点を明確にして二つの文章を比べて読み、文章を読んで理解したことや考えたことを自分の知識や経験と結び付けて自分の考えをまとめる
單元例「私の考える『読書の楽しみ方』を紹介しよう」

具体例

POINT1 これまでの自分の読書活動を振り返り、単元のゴールを明確にして、学習の見直しをしよう

〇学習課題を明確にして、学習の見直しをもう一つ。
これまでの自分の読書活動を振り返り、単元のゴールである「読書の楽しみ方」をプレゼンテーションすることを捉えて、学習の見直しをもつ。「読書の楽しみ方」に関する本の読書計画を行う。

POINT2 グループワークの目的と課題の視点 (様式にあった読書・構成読書) の明確化

〇情報を取り出して整理し、自分の知識と結び付けて自分の考えを明確にできるようにする。
必要な情報に着目して資料を読み、思考ツールを導入して自分の考えを整理して整理する。
「読書の楽しみ方」について思い込みを交流し、考えを広げたり深めたりしたことをもとにプレゼンテーションにまとめる。

POINT3 学習のまとめと振り返りから読書活動の充実へ結び付ける

〇自分の「読書の楽しみ方」をプレゼンで発表し、交流したことから学習のまとめの振り返りをする。
これまでの学習をもとに、立場を明確にして自分の考えを文章にまとめる。
この学習を通して、自分がどのような学びに役立ったかについて振り返る。

〈生徒の振り返り〉
文章から必要な情報を整理することで、自分の考えをわかりやすくまとめることができました。友達のプレゼンを聞いて、似た部分や違う部分の本を読んだことになりました。

「授業実践アイデア例」

「課題別実践アイデア例」



千葉 アイデア例

他にも数多くのアイデア例が掲載されています！

アイデア例を参考に、授業改善に努めていきたいと思えます。

閲覧・ダウンロードは、こちらから

これまでの千葉県学力向上通信「COMPASS」の掲載ページや過去の調査問題・正答例・解説資料等を掲載した国立教育政策研究所のホームページ等にも、本ページの[関連サイト]から簡単にアクセスできます。